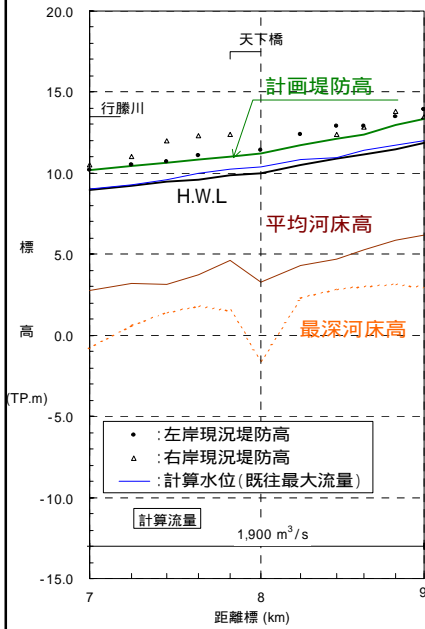


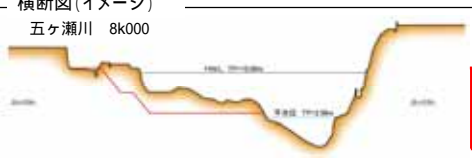
天下地区(五ヶ瀬川 7/8~8/2)



湾曲、狭窄部の為水位が上昇

天下地区(五ヶ瀬川 7/8~8/2)

横断面(イメージ)
五ヶ瀬川 8k000



治水分科会

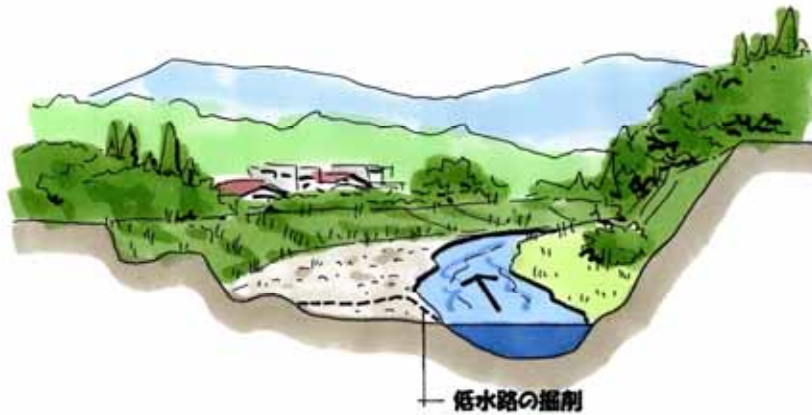
この区間については、平水以上の掘削が最も良いと考えられる。但し、ここで河床を下げ過ぎるとそこで土砂の堆積が起りやすくなるので、低水路を下げ過ぎないようにすることが必要。

平水位以上の掘削とする。



整備イメージ図

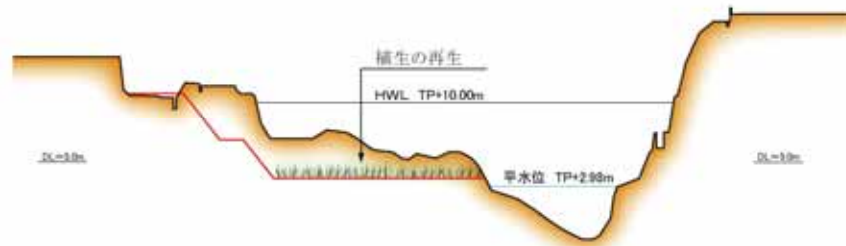
天下地区 (五ヶ瀬川 7/8~8/2)



天下地区 代表横断面図

(平水位以上掘削イメージ)

五ヶ瀬川 8k000



凡 例	
	現況河道
	整備計画河道(案)

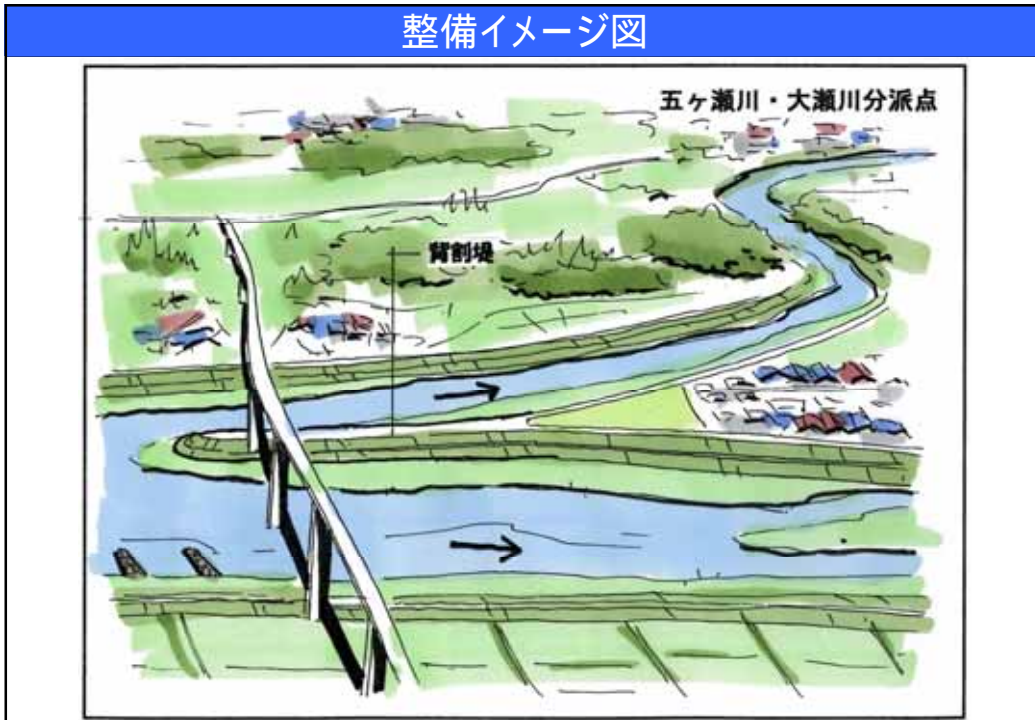
五ヶ瀬川・大瀬川分派点



五ヶ瀬川・大瀬川分派点



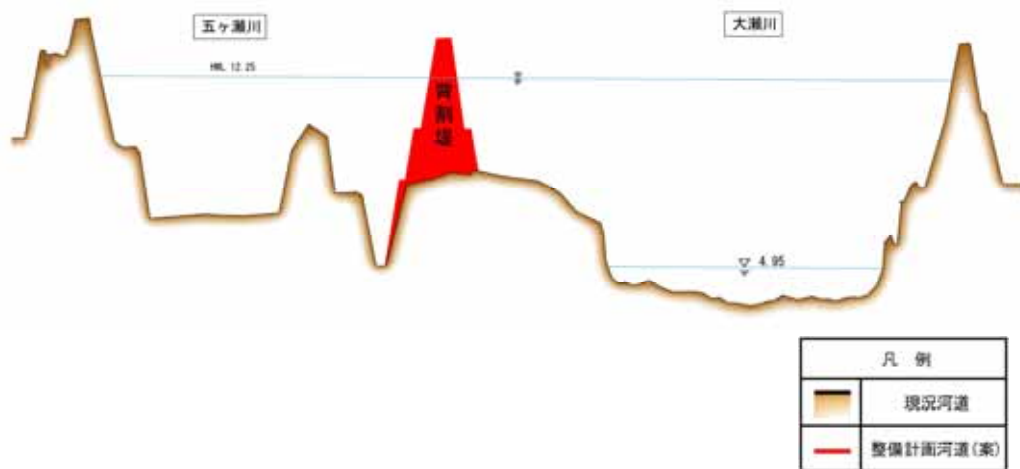
整備イメージ図



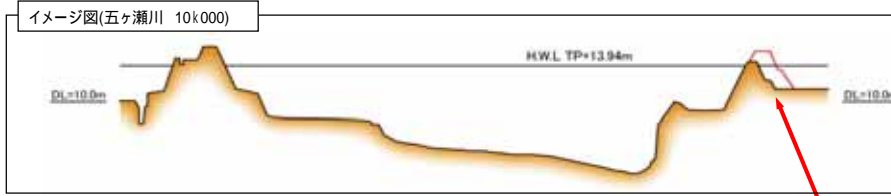
分流地点 代表横断面図

(分流施設イメージ)

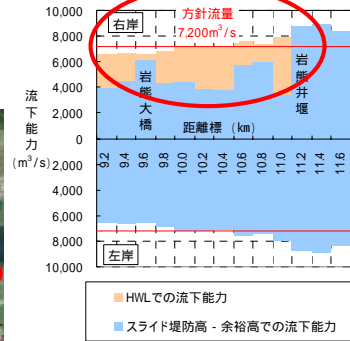
9k200地点



三輪地区(五ヶ瀬川 9/0~11/0右岸)



堤防断面不足



三輪地区(五ヶ瀬川 9/0~11/0右岸)



治水分科会

・堤防の断面不足にあたる区間になる。

堤防の断面確保。



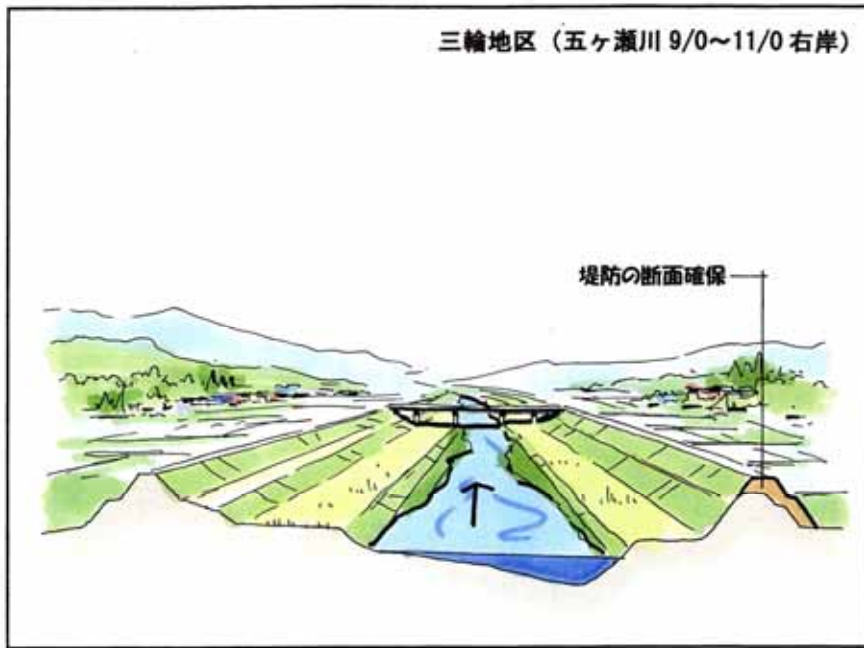
台風16号により漏水した付近



岩熊大橋上流右岸側の堤防

整備イメージ図

三輪地区 (五ヶ瀬川 9/0~11/0 右岸)



三輪地区 代表横断図

(堤防の断面確保イメージ)

五ヶ瀬川 10k000



凡 例	
	現況河道
	整備計画河道(案)

岩熊井堰 (五ヶ瀬川11/090)



環境分科会

・魚道を改良し、魚の遡上効果を上げて欲しい。

利活用分科会

・自然の多いキャンプ場として利用したい。
・岩熊井堰を改築して水の流れを作れば、ロデオというカヌーの競技を行うことが可能。

岩熊井堰を利用したカヌー競技のイメージを作成してみる。
(利活用分科会)

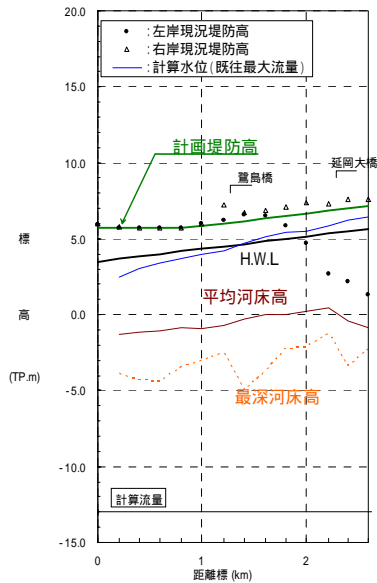


岩熊井堰



岩熊井堰下流

延岡大橋～河口(大瀬川0/0～2/4)



河道内の砂州、樹木等により水位が上昇

延岡大橋～河口(大瀬川0/0～2/4)



治水分科会

- ・砂州部の掘削を行う場合、出来るだけ環境に配慮した掘削にしたい。

環境分科会

- ・大瀬川河口が閉じてしまうと、水質の悪化により、アユの生態に影響が出る。
- ・潮流の関係で河口が閉まりやすいため、導流堤が消波ブロックを設置して欲しい。
- ・大瀬川鷺島橋上流を掘削が実施されているが、出水後に土砂が堆積し、堰上げされているように感じる。

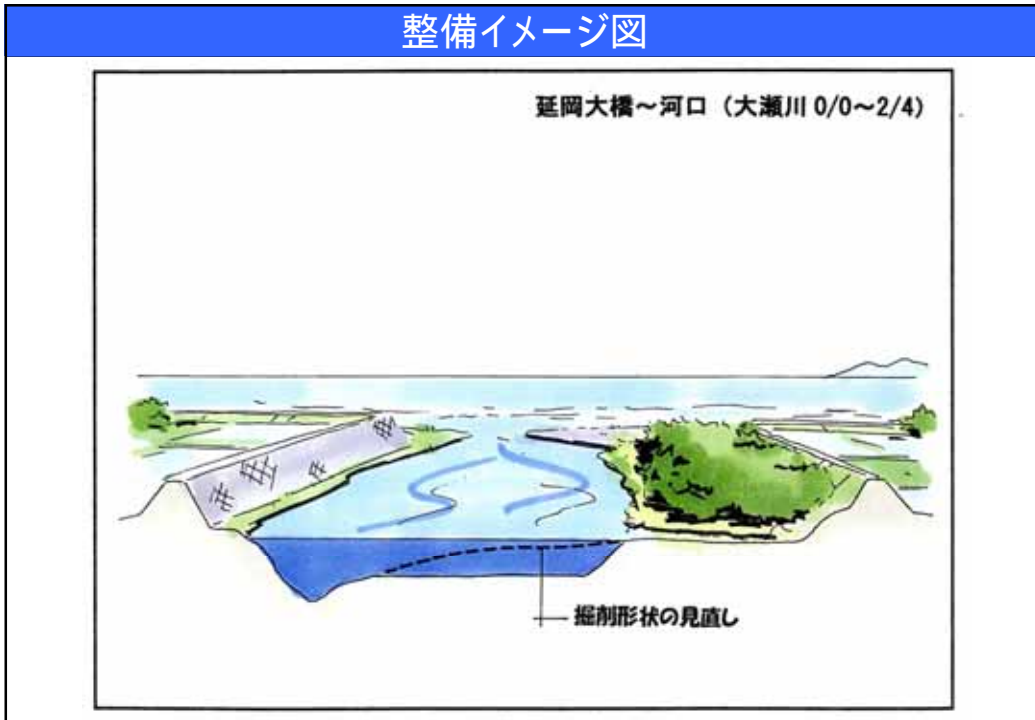
利活用分科会

- ・潮流が早く遊泳禁止になっているが、何らかの利用が出来ないか。
- ・隔流堤をつくて自然に任せるのが一番良い。

掘削形状を工夫する。



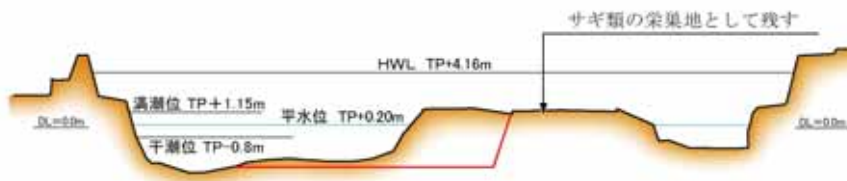
整備イメージ図



延岡大橋～河口 代表横断図

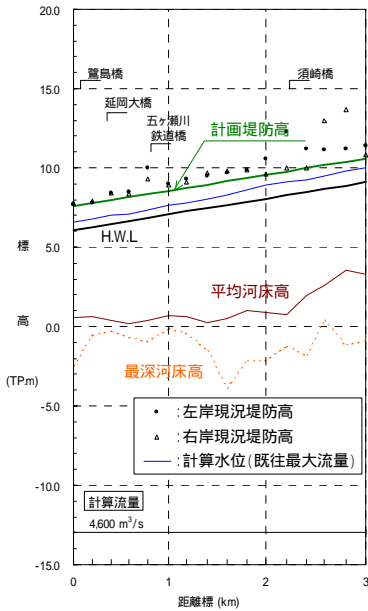
(掘削形状の工夫イメージ)

大瀬川 0k800



凡 例	
	現況河道
	整備計画河道(案)

延岡市街部(大瀬川3/6~5/2右岸)



高水敷利用
により河積不足
となっている。



延岡市街部(大瀬川3/6~5/2右岸)

改修方法：高水敷をなくし、河積を確保します。

治水分科会

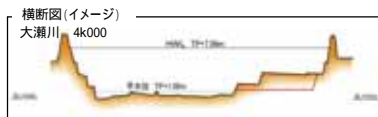
- ・高水敷の盤下げを行った場合の利活用への影響は、冠水頻度がどの程度になるのかという点にある。
- ・高水敷の盤下げした時の水の流る変化を確認して欲しい。
- ・治水上は高水敷の盤下げが良いと思うが、河畔林については残す必要があると考えられる。
- ・買収せずに高水敷を盤下げすることは可能か。
- ・高水敷を盤下げする場合、現在の所有者に反対する権利はないのか。

環境分科会

- ・川の中にはゴルフ場や、駐車場は本来必要ないのではないか。
- ・河畔林は残せるだけ残してほしい。
- ・古城地区は兼漁区になっているが、掘削して流速が落ちると河床が変化し、生態に影響が出るのではないか。
- ・三須地区では陸上部の掘削を行っているが、出水時の流速が変わり(速くなる)影響が出ている。

利活用分科会

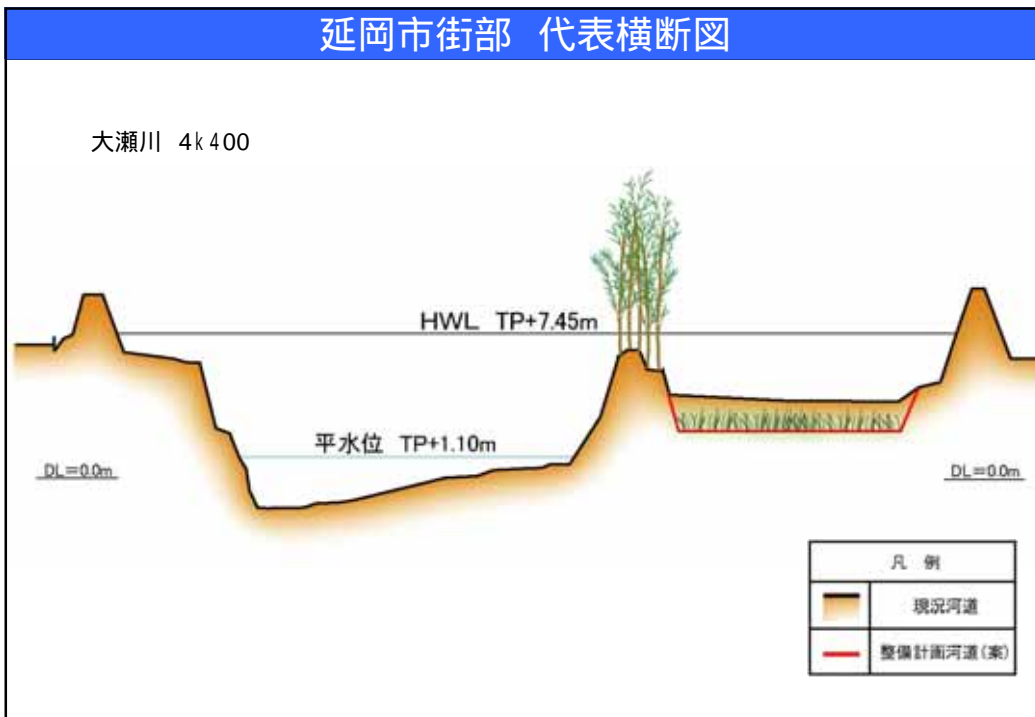
- ・多目的広場としての利用、又は市役所前のサッカー場やその他の高水敷利用の代替地として利用してはどうか。



整備イメージ図



延岡市街部 代表横断図



安賀多地区(大瀬川 3/0 ~ 3/4)



旭化成工業用水
許可水利権
最大 5.0m³/s



安賀多地区(大瀬川 3/0~3/4)



治水分科会

- ・砂州部の改修方法は掘削でよいが、植生については復元する必要がある。
- ・旭化成取水口を移動できないか。

環境分科会

- ・仮締切により、出水後に隔流堤下流に土砂が堆積し河床が上昇することで、近年安賀多産卵場に影響が出ている。

利活用分科会

- ・大瀬川の河口が開くと、潮が上がりやすくなるため取水口への影響が気になる。

高水敷の掘削方法を今後協議してゆく。

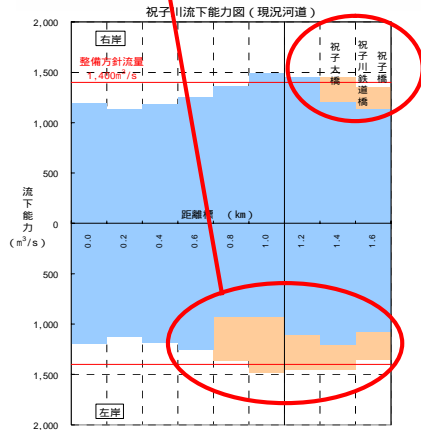
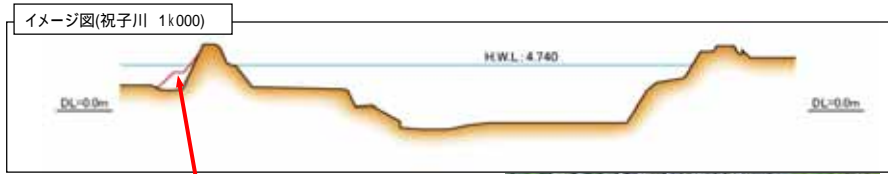


安賀多の瀬



旭化成取水口

祝子川地区 (祝子川 0/6 ~ 1/6左岸, 1/4 ~ 1/6右岸)



祝子川地区 (祝子川 0/6 ~ 1/6左岸, 1/4 ~ 1/6右岸)



治水分科会

・この区域に対する改修方法は、堤防の断面確保で問題ない。

堤防の断面確保。

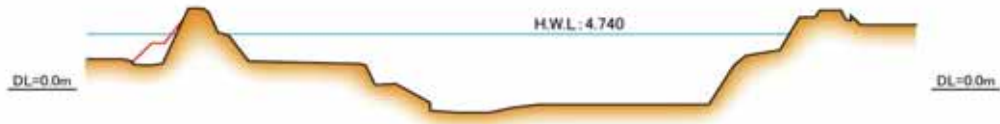


祝子大橋下流左岸堤防

祝子川地区 代表横断図

(堤防の断面確保イメージ)

祝子川 1:1000



凡 例	
	現況河道
	整備計画河道(案)

友内川



環境分科会

・友内川のフラッシュ事業のコアマモ・アカメへの影響についても検証が必要と思われる。



コアマモ

出展:「川の生物図典」山海堂



アカメ



友内川水門



アカメ

出展:「日本の淡水魚」山と溪谷社

五ヶ瀬川水系友内川《友内川自然再生事業》

現状と課題

- ・環境省の「重要湿地500選」に選定(平成13年10月発表)
- ・コアマモやアカメが生息しており、豊かな自然環境
- ・樋門・水門による上下流の締め切りにより、豊かな自然環境が消失しつつある



地域住民からみた課題

- ・生活排水による水質汚濁がみられる
- ・土砂、ヘドロの堆積がみられる
- ・魚やシジミがいなくなった
- ・川沿いの樹木を残してほしい
- ・ハマボウ等の植林をしてほしい
- ・住民が親しめる川を還元させたい



友内川のマルカをそだてる会

「ワズユース」とは、その湿地/ウェットランドの生態系を持つ生態学的特徴を損なわないような方法で、その湿地が与えてくれる恩恵を将来の世代に引き継ぐことができるように、その湿地を活用すること

- 要因**
1. 底質の悪化
 - ・土砂の堆積
 - ・洪水時のフラッシュ機能の低下
 2. 水質悪化
 - ・生活排水の流入

このままだと友内川の環境が悪化する一方であり、締め切り以前の良好な自然環境を再生する

友内川自然再生

「ワズユース」理論を取り入れた自然再生
(環境学習を取り入れた総合的自然再生を目指す)

環境学習

友内川に隣接するリバーバル五ヶ瀬川を流域交流のキーステーションと位置づけ、地域住民との様々な環境学習の場を提供すると共に、活動を通じて長期的な自然再生に取り組む

- ・野鳥観察会
- ・干潟観察会
- ・環境エネルギー夏休み親子講座
- ・カヌースクール
- ・カヌーツーリング
- ・ハマボウの苗作り
- ・水質調査
- ・水辺から文化の里づくり活動などの実施



実施計画

- ・フラッシュ機能の確保
 - ・底質の改善
- ・水質の改善
 - ・大潮時のフラッシュ実験を行い適切な水環境の改善を図る
- ・河畔林(魚付林)の再生
 - ・植物等による水質浄化を地域住民と一緒に行う
 - ・観察施設の充実
 - ・川沿いに樹木を植える
 - ・観察(ヒカリダ)路を整備する

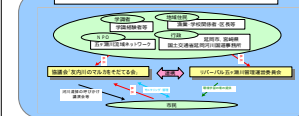
モニタリング調査

- ・土砂の供給源調査
- ・流速調査
- ・水質・低泥調査
- ・土砂の堆砂状況調査
- ・魚介類の定量調査
- ・植生調査

進め方

地域住民、周辺学校、NPO、専門家と協議会(「友内川のマルカをそだてる会」平成16年7月1日発足)を組織し、進めていきます。

地域住民とのパートナーシップ図



その他全般

環境分科会

- ・瀬淵が形成されるような掘削形状にして欲しい。単調な川底になるとオイカワ、カワムツだけになってしまう。
- ・魚類（鮎に限らない）の産卵場の把握等、現状の生態の整理を事前にして欲しい。
- ・流域全体としての考え方（治水・環境・利活用）についても、今後議論する必要があるのではないか。

利活用分科会

- ・整備計画には自然を残す、水遊びの出来るような場所を残す、という文句を一言入れて欲しい。